

## 浸透水噴出に係る生活環境影響調査結果（中間報告）について

### 1 目的

竹の内産廃処分場に設置している観測井戸No.3及びNo.5（図-1参照）において発生している浸透水噴出事象について、噴出水及び噴出ガスを分析し、生活環境保全上の支障の有無を確認するもの。

### 2 調査年月日

平成22年11月22日（月）

なお、平成22年9月17日（金）にも調査を実施したが、浸透水の噴出はなかった。

### 3 噴出水及び噴出ガスの採取方法

図-2のとおり、観測井戸内に汲上げポンプを設置し、孔口に噴出水・噴出ガス採取装置を取り付け、汲上げポンプを作動させることにより、刺激を与え、噴出水及び噴出ガスを採取したもの。

### 4 調査結果

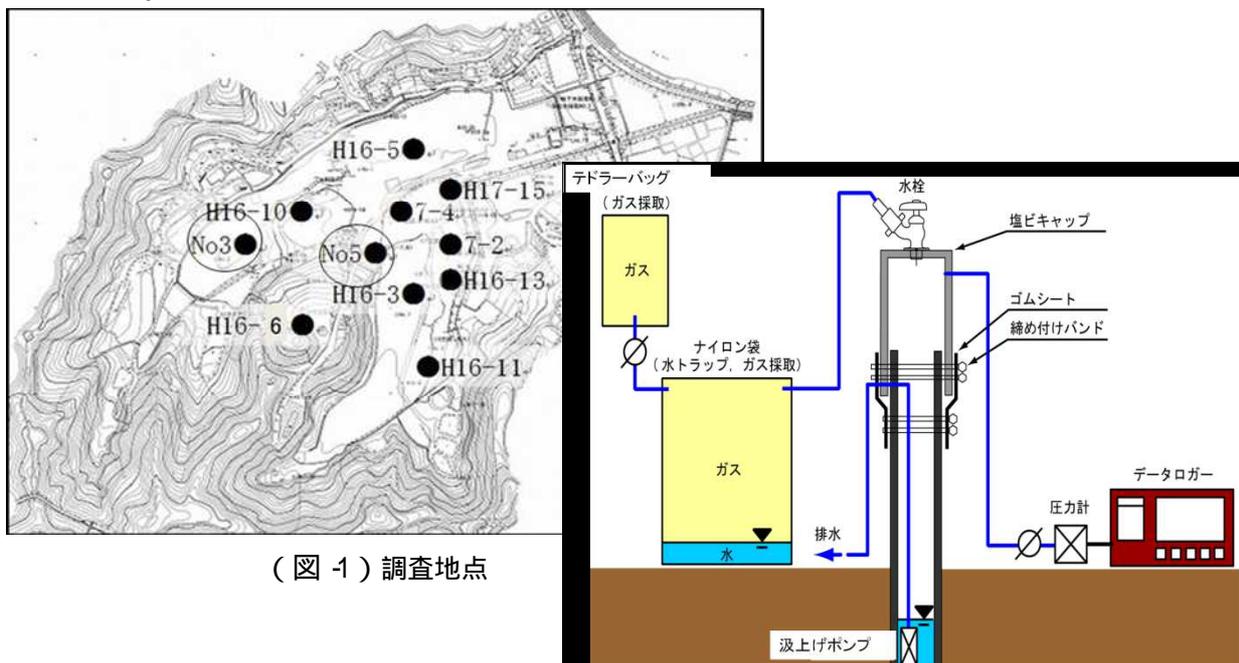
別紙のとおり

今回の噴出したガスに含まれる硫化水素の濃度は、No.5において最大65ppmであったが、その噴出量から推計すると、大気拡散により希釈され、敷地境界で悪臭防止法を準用した硫化水素濃度の規制基準として示される濃度範囲の内最も低い濃度である0.02ppmを十分下回るものと考えられる。

### 5 今後の対応

噴出状況に変動があることも考えられることから、地域住民の安全・安心を確保するため、今後とも調査を継続して行うこととする。

なお、当面の対応として、観測井戸No.3及びNo.5において吸引ポンプによりガスを吸引し、活性炭を通過させて無害化した後に排出するガス処理設備を平成23年2月までに設置する予定である。



（図-1）調査地点

( 図 - 2 ) 噴出水・ガス採取装置

## 別紙 調査結果

## 噴出水容積，噴出ガス容積，噴出継続時間

地点名	観測井戸No.3	観測井戸No.5
調査項目		
噴出水容積	計測出来なかった	10L以下
噴出ガス容積	計測出来なかった	推定600L以上
噴出継続時間	3分	10分

## 噴出水測定結果

調査項目	No. 地点名	観測井戸No.3			観測井戸No.5					
		噴出前	噴出水 試料①	噴出後	噴出前	噴出水 試料①	噴出水 試料②	噴出水 試料③	噴出水 試料④	噴出後
浸透水	水温 (°C)	24.7	19.6	21.9	20.0	/	/	/	/	20.7
	透視度 (cm)	/	/	23	/	/	/	/	/	43
	pH	7.5	7.4	7.5	7.5	7.5	7.1	7.4	7.9	7.2
	硫酸イオン (mg/l)	14	14	85	0.97	4.2	4.5	4.4	2.9	17
	塩化物イオン (mg/l)	150	170	140	240	280	200	270	310	210
	電気伝導率 (mS/m)	140	160	130	410	370	/	/	/	340
	酸化還元電位 (mV)	-44	74	11	96	/	/	/	/	99

注 噴出前は噴出する直前に採水した試料、噴出後は噴出後約3時間後に採水した試料について測定を実施した。  
斜線部分は今回の測定時に欠測したものを。

## 噴出ガス測定結果

調査項目	地点名	観測井戸No.3			観測井戸No.5				
		噴出前	噴出ガス試料①	噴出後	噴出前	噴出ガス試料①	噴出ガス試料②	噴出ガス試料③	噴出後
発生ガス	硫化水素 (ppm)	95	39	68	13	60	62	65	13
	二酸化炭素 (%)	<0.25	0.9	1.4	2.5	/	9.0	9.0	/
	酸素 (%)	<6	<6	<6	<6	<6	<6	<6	<6
	メタン (%)	71	80	65	31	76	73	76	78

注 噴出前及び噴出後は観測井戸管頭下1m地点部分において測定したものを。噴出前は噴出水・ガス採取装置を設置する前、噴出後は噴出後約2時間半後に測定したものを。斜線部分は今回の測定時に欠測したものを。